

(報道発表資料)

2022 年 12 月 1 日

野村不動産株式会社

東日本電信電話株式会社

**物流 DX を推進する企業間共創プログラム「Techrum」の効果検証拠点
「習志野 TechrumHub」へローカル 5G 検証環境を構築（12 月 1 日運用開始）
～ 物流施設で「ギガらく 5 G」を初導入 ～**

野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：松尾 大作、以下「野村不動産」）、ならびに東日本電信電話株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：澁谷直樹、以下「NTT 東日本」）は、物流課題解決を推進する企業間共創プログラム

「Techrum（テクラム）」の効果検証拠点「習志野 TechrumHub（テクラムハブ）」にサポート付きマネージド・ローカル 5 G サービス「ギガらく 5 G」を導入し、ローカル 5 G 検証環境として、12 月 1 日より運用開始することをお知らせいたします。

「ギガらく 5 G」の「高速大容量」「高信頼・低遅延通信」「多数同時接続」の特徴を活かし、Techrum パートナー企業との連携を通じて、荷主企業のニーズに応えるさまざまな効果検証・ソリューション開発に取り組み、持続可能かつ事業環境の変化に対応できる物流の実現に貢献してまいります。

1. 構築背景・目的

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う EC 需要の大幅増加に象徴されるように、現在では消費者の生活スタイル・購買スタイルは急激に変化しております。さらには、車両運転業務への時間外労働上限規制（2024 年施行）による長距離ドライバー不足・EC 需要などにより個人宅への配送増加に伴う人手不足が深刻化しており、自動化・省人化をはじめとした先端技術活用による物流オペレーションの見直しが業界全体で急務となっているものの、物流施設内においては、それらを実現する通信環境の整備が遅れているのが現状です。

こうした現状を踏まえ、企業間共創プログラム「Techrum」の効果検証拠点「習志野 TechrumHub」に、NTT 東日本が提供する「ギガらく 5 G」を導入し、ロボットの自動運転・遠隔制御や IoT センシング技術を活用した作業員稼働の可視化といった、物流 DX に資する効果検証を進め、物流業界を取り巻く事業環境変化に対応いたします。

2. 概要

この度、「Techrum」の効果実証拠点である「習志野 TechrumHub」に、NTT 東日本が提供する「ギガらく 5 G」の導入によるローカル 5G 検証環境を構築いたしました。「ギガらく 5 G」の物流施設への導入は初めての取り組みです。

物流施設においては、自動搬送ロボット等の導入が進む一方で、既存の Wi-Fi 環境では接続機器増加によるネットワーク輻輳や Wi-Fi 間の電波干渉により、通信遅延やロボットの動作停止が発生しやすく、それらがロボットや IoT センシング技術の導入および活用を阻害する要因のひとつとなっておりました。

このような課題に対し、「ギガらく 5 G」の「高速大容量」「高信頼・低遅延通信」「多数同時接続」の特徴を活かすことで、複数台のロボットや高精細カメラ、センサー端末を高い安定性・精度下で制御・活用できるようになり、倉庫オペレーションの DX に向けた効果検証の取り組みが可能となります。

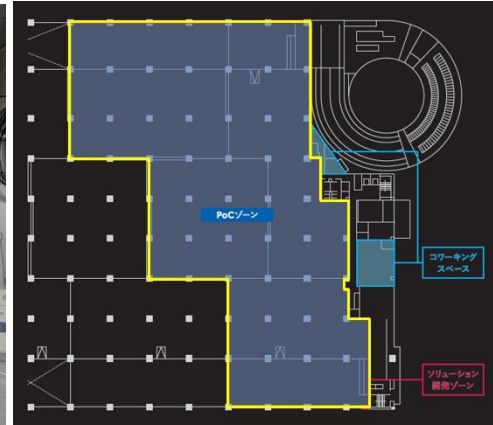
加えて、サポート付きマネージド・ローカル 5 G サービスである「ギガらく 5 G」は、「手頃な料金」で「運用の手間なく」をコンセプトに設計・開発されたマネージドサービスであるため、業務の DX を検討する荷主や物流関連企業にとっての「導入・運用コストが高い」、「構築、運用に専門的な知識が必要」といった、ローカル 5G の導入におけるハードルを下げる事が可能と考えております。

【習志野 TechrumHub と「ギガらく 5G」対応エリア】

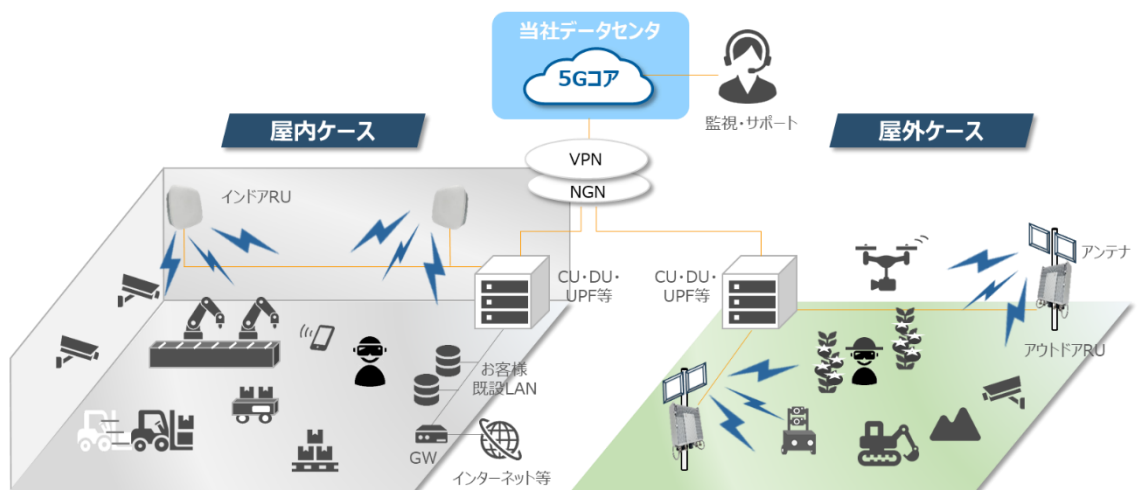
「習志野 TechrumHub」



「ギガらく 5G」対応エリア



【ギガらく 5G サービスイメージ】



本格的な5Gスタンドアローン機能・お客様のご利用環境に合わせた多様なラインナップ
事前手続きから設計・構築・運用までのトータルITOをワンパッケージ

電波シミュレーション

置局・NW設計

免許取得

NW・ソリューション構築

運用・お客様サポート

3. 検証環境運用開始日

2022 年 12 月 1 日（木）

4. 各社の役割

- ・ 野村不動産

効果検証の共同企画、検証フィールドの提供、Techrum パートナー企業とのローカル 5G の有効性検証

- ・NTT 東日本

効果検証の共同企画、検証環境の開発・構築・検証、ローカル 5G を活用したソリューションの仕組み検討

5. 今後の取り組み

野村不動産ならびに NTT 東日本は、パートナー企業との連携を通じて、「ギガらく 5G」を活用した自動化機器の高度化や、作業状況の可視化の取り組みの有効性を検証し、物流倉庫におけるローカル 5G の有効活用による課題解決に向けた検討を進めてまいります。

【検証イメージ】



〔参考〕

- ・「Techrum」ならびに「習志野 TechrumHub」について

「Techrum」は、野村不動産が、自動化機器の効率的な活用で物流オペレーションを最適化するために 2021 年 4 月に開始した企業間共創プログラムです。自動化機器の単なるセールスではなく、参画企業の連携や組み合わせなどによる課題解決やきめ細かいソリューション開発などを目指しています。

同社が運営する物流施設「Landport 習志野」（千葉県習志野市）内の「習志野 TechrumHub」を効果検証検討として活用し、参画基準にはあえて販路や他企業との連携制限などを設けておらず、幅広い企業が参画することで荷主や物流企業の課題解決を目指しています。

HP：<https://www.nomura-landport.com/techrum/>



- ・Techrum メンバーシップについて

「Techrum」では、パートナー企業と実証に向けた取り組みを本格化させるために、2022 年 11 月よりメンバーシップ制度を開始しております。ベーシック、シルバー、ゴ

ールド、スペシャルの4つのメンバークラスを設け、各社の取組状況に応じたサービス提供を可能としております。

- ベーシック : 無料から手軽に参画できるメンバーシップクラス
- シルバー・ゴールド : 本格的に実証や協業に取り組む企業向けの有料のクラス
- スペシャル : 個別の実証に留まらず戦略的に投資も行い、より幅広く・深い課題に共同で取り組むメンバーシップのクラス

この度、野村不動産とNTT東日本は、「スペシャルクラス」としてメンバーシップを締結し、事業戦略に関わるレベルでの本格的な協業検討を進めてまいります。

※: マネージド・ローカル5Gサービス「ギガらく5G」について

HP: <https://business.ntt-east.co.jp/service/gigaraku5g/>